

## クラスの様子【7月号】

●ひよこ組 **今月の目標** 一人ひとりの体調に合わせて、水遊びや沐浴を楽しむ。

毎日の生活の中で、リズムも出来、落ち着いて過ごせるようになりました。自分の思いもしっかり出せるようになり、今は子ども達の思いに寄り添い、ゆったり過ごすようにしています。時には、『思い通りにならない事』『出来ない事』もあり、そんな時は、話をして伝えるようにしています。一人ひとりの心の成長が見られる場面や、大きいお友だちの姿を見て、一番小さいお友だちも小さい身体を一生懸命動かす場面も増えてきました。ついこの間まで、寝返りが出来るようになったと喜んでいたので、今ではずりずりと前進したり、向きを変え、一緒に楽しむ姿があります。これからますます暑くなっていきますが、体調を整えて、楽しい時間を過ごしていきたいと思います。(伊達)



●りす組 **今月の目標** 水や泥などの感触を味わい夏の遊びを十分に楽しむ。

天気の良い日にはベランダで水あそびや泥んこあそびをしました。最初は嫌がる子もいましたが、徐々に慣れて水や泥の感触を楽しんでいました。雨の日は、製作や運動あそびをしました。お絵かきはトントンとクレヨンを打ち付けて点を描く子や、ダイナミックにぐるぐる描く子など様々でした。運動あそびでは、巧技台のすべり台やマット、鉄棒、とび箱、ボールプールをしました。習熟度で2つのグループに分かれ、とび箱の高低を調節したり階段にマットをかぶせると、小さい月齢の子も危険なく楽しめていました。高い階段をのぼり、すべり台を降り終えた時の満面の笑顔が印象的でした。この運動あそびで怖い思いや達成感、挑戦する勇気など、いろいろな事を感じたと思います。雨の日もいっぱい身体を動かして楽しめるあそびを設定したいと思います。今月からはプールあそびも始まります。体調に気を付けて安全なプールあそびが出来るように気を付けていきたいと思います。(早川)



●白うさぎ組 **今月の目標** 水や泥など様々な素材に触れて素材の冷たさや気持ち良さ、感触を楽しむ。

暑い日が続く、水遊びや泥遊びをする日がありました。水に触れて水の冷たさを感じ「冷たい」「気持ちいい」など子どもたちが感じた事を言葉にしていました。片栗粉粘土ではさらさらとした粉の感触を感じそこへ水を入れて握ると、固まってきゅっきゅとした感触や片栗粉特有のとろみを楽しみ、手のひらで固まっていた片栗粉粘土がトロっと溶けていくと「なんで溶けるの？」と溶けていく様子を不思議そうに見つめる子もいました。これからますます暑くなってくるので様々な素材に触れていけるといいなと思います。うさぎ組では選択制の活動を取り入れています。特定の場所が好きで同じところを選ぶ子、遊びたい友達がいるところを選ぶ子、保育士が予想していなかった遊びを選ぶ子など、子どもの姿は様々でみていて面白いです。選ぶだけでなく西の広場で山登りがしたい、お化けごっこがしたいなど目的を持って選ぶ子もいます。まだ2歳児なのに活動を選ぶ力があるのはすごいなと思います。またうさぎ組で育てているトマトが収穫できるようになってきました。水やり当番を決め、トマトの実が大きくなって色付いていくのを観察してきました。初めて収穫できたトマトをみんなで触り匂いを嗅ぎ触れていくと嬉しそうにしている子がたくさんいました。これからたくさん色付いていくと思うのでみんなで収穫して触れていきたいです。(谷口)



## クラスの様子【7月号】

●赤うさぎ組 **今月の目標** 水や泥に触れて、様々な感触を楽しむ。

暑い日が多くなり水あそびをしたり、水分補給をしながら活動をしています。

2～3種類の中からその日の遊びを選択したり、赤うさぎぐみだけでなく白うさぎぐみさんとも一緒に水あそびをしたり、散歩に出かけたりすることも多くなってきました。はじめは選ぶ時にとまどったり、すぐに決められなかったりしていましたが、この頃は何をするかの話をしている時から「私は西の広場!」「ワンワン(見る!)」と言ったり、散歩が大好きで迷うことなく散歩を選ぶ子もいます。何をしようか自分で決められるということもすごいですし、それを声にして、態度にして意思表示できるようになってきたことに、とても感心させられています。時には決められないこともあるかもしれませんが。その時はじっくり考えられるように時間をおいたり、一緒に考えながら決められたらと思っています。そして自分で選んだ遊びや場所で、思いっきりのびのびと過ごせるよう、「おもしろいね」「みつけたね」などと共感し、大人も一緒に心をワクワクさせながら活動を楽しみたいと思います。(中村)

●さくら・くぬぎ・とちのき組 **今月の目標** プールや泥んこ遊びを通して衣服の着脱や整理整頓など生活に必要な力を身につける。

蒸し暑い日も続き、夏が迫ってきました。現在、幼児クラスでは子どもたちが自分の好きなこと、好きな場所、好きなお友だちと自由に遊べるように園庭や室内、散歩...といった活動場所を用意して自分自身で「活動の選択」をして楽しめるように工夫しています。今回は外遊びのようす、室内遊びのようすに分けて子どもたちの姿を紹介したいと思います。

<外遊び(園庭、散歩、西の広場、雨降り散歩など)のようす>

戸外での活動は天候へ気かけながら活動先を考えています。登園、降園時は園庭で遊ぶことが多いことで主活動では散歩や西の広場での活動を選択する子が増えてきました。泥団子を作ったり、この時期ならではの虫(カエル、バッタ、クワガタ等)を探したりなどとても活発に遊んでいます。「今度一緒に泥団子つくろう!」「西の広場にしよう!」とお友だちと約束しあう微笑ましい姿も見られるようになってきました。また、雨降り散歩として傘を差し、長靴を履いて外へ出掛けるといったこの時期ならではの遊びも楽しんでいます。(平澤)

<室内遊び(各コーナーでの遊び)のようす>

製作コーナーではピザ作りからお弁当作りに展開し、おすしやさん、ドーナツやさんと遊びが広がっていきました。子どもたちが、ものを作る時のイメージや発想力がとても豊かですごく素敵な作品がたくさんでき上がりました。これからも、子どもたちと一緒にものを作る楽しさや、何かに挑戦してみたいという気持ちを大切にしていきたいと思います。そして、これからの季節ならではの活動を楽しみにしながら元気に過ごしていきたいと思います。

今月からはプールでの活動も始まります。季節ならではの遊びや子ども達を楽しみたいと思える活動をこれからも考えていきたいと思います。(矢下)

●ライオン組 **今月の目標** 十分に身体を動かして遊ぶ。衣服の着脱や布団の片付けなど身の整理を自分自身で行なう。

ライオンぐみでは6月から午後の時間を利用して御幣川での川遊びを楽しんできました。川に入って楽しむ子ども達の姿、表情はとても輝いており、見ているこちらにも元気をもらえます。また、回数を重ねるにつれダイナミックに思いきり遊ぶことが出来るようになった子が多く、遊びの中でも子どもたちの成長、経験を積み重ねる事の大切さを感じる事が出来ました。7月からは午睡も始まるため、川遊びは午前の活動の中で週一回程度行くことが出来れば良いと考えています。水の事故や怪我、熱中症等には十分に気を付けながら、今の時期ならではの活動を楽しんでいきたいと思っています。(安田)

